R08-010

令和８年１０月２６日

南砺市長　田中　幹夫　殿

南砺市地域づくり協議会連合会
会長　戸成　博宣

要　望　書

南砺市は、深刻な人口減少に直面しています。団塊の世代が後期高齢者となり、企業や地域コミュニティーの維持や担い手の確保が様々な分野で顕著となり、少子化の波は予想を遥かに超えるなど、大きな転換期に直面しています。市の行政運営のみならず、地域社会では中小企業の廃業・撤退が相次ぎ、農業の担い手不足・経営不振問題、耕作放棄地の増大と美しい農景観が大きく損なわれ、商店街は後継者問題などによる廃業などの課題が山積しています。

このような中、「誰ひとり取り残さない誰もが笑顔で暮らし続けられるまち」の実現に向け、「まちづくり基本条例」の主旨に則り、より良い南砺市を目指していくためには、地域づくり協議会を中心とする住民自治組織の役割が非常に大きいと考えており、課題解決型の住民自治組織となるよう歩みを進めております。

つきましては、次の事項について令和９年度予算編成、並びに市政運営に反映いただきたく、特段のご配意を賜りますよう要望します。

１．庁舎統合後のまちづくりについて　R08-010-001 未来創造課　まちづくり推進係

福光庁舎に統合して相当の時間が経過しています。福野・井波・城端の旧庁舎は一部を市民センターとして使用していますが、３階建ての建物の大半が使われていない状態になっています。一方で旧３町の市民にとって利用料が発生しない会議室や、選挙の投票所、税務申告手続など、市民センターは単に住民票交付などの手続業務のみならず、町の拠点施設としての必要性が再認識され、その再整備を求める声が強くなっています。市役所庁舎１階の一番大事なスペースを旧福光町の市民センターが占めていますが、旧福光町の市民にとって拠点となる施設がありません。福光地域が従来要望していた老朽化した福祉会館・旧図書館の解体も視野に、独立した市民センター(複合施設)が必要不可欠だと考えます。

いずれにしても、そもそも市民センターの在り方、今後の方向性など明確な方針を示すとともに、その実現に向けた予算を確保しながら取り組むことを強く要望します。

２．災害避難対策の徹底について

令和６年１月１日に能登半島地震が発生し、南砺市も震度５弱の地震を体感し、富山県西部の各市でも多くの巨大災害が発生しました。災害発生時の危険度や住民が取るべき行動などについて防災計画の見直しを行うとともに、より実践的な防災対策に努めることを要望します。

R08-010-002 総務課 防災危機管理係 ➢ 一時避難の後、対策本部が開設した大規模避難所に順次避難する計画となっており、各旧町村単位の開設訓練が総合防災訓練開催時にあわせて実施されています。引き続き、災害発生時の備蓄品の見直しを含めて、シミュレーションと実践的な訓練の積み重ねを強く要望します。

R08-010-003 総務課 防災危機管理係 ➢ 避難に関するマニュアルについては、市が共通となる基本的な考え方を幅広く示した上で、各地域が実情に応じて詳細を作成することになっています。誰もが理解でき行動できるマニュアルの作成を要望します。

R08-010-004 総務課 防災危機管理係 ➢ 南砺市防災センターが南砺消防署に併設されましたが、災害対策本部の立ち上げなどに必要な機材・設備等の体制が万全なのか懸念されます。有事の際にどのような対策や設備が必要なのか、専門家の助言に基づく体制整備が必要だと考えます。

R08-010-005 総務課 防災危機管理係 ➢ 大規模な地震が発生した場合に備え、交流センターをはじめとする地区の集会場以外にも比較的規模の大きな公共施設や体育館が避難所として指定されています。不測の事態が発生した際、市民が安心して避難所を活用できる体制の整備と避難所開設に係る適応的な防災計画の見直しを強く求めます。

R08-010-006 総務課 防災危機管理係 ➢ ７月２８日に南砺市に「レベル４土砂災害危険警報」が発表され、広瀬

舘地区に避難指示が出たため、交流センターに避難所を開設しました。避難者が２０数名、スタッフを含め３０人が避難所で不安な夜を過ごされました。しかし、保管された防災資機材を避難所に準備出来たものは、交流センターの押し入れに入っていた毛布と非常食だけで、他のものは隣の JA 地区センターに保管されていたため、持ち出すことが出来ず、折角の防災資機材を使用することが出来ませんでした。同日は、不安なので家に帰らず、避難所で泊まる方が数名おられ、マットレス（資機材として保管されているが）のかわりに座布団と毛布だけで寝ていただきましたが、「背中や腰が痛かった」との声が聞かれました。交流センターにいつでも取り出せる保管庫があれば、そのような苦情の声を聞かずに、もう少し気の休まる避難所にできたと痛感させられました。そのような経緯を踏まえ、災害発生時に地域住民が協力して避難所の設営や救助救出活動を迅速に行うため、いつでも防災資機材が出し入れ出来る防災用備蓄倉庫の設置を要望します。他の地区でも同様の状況で保管場所に困っておられるところがあることが予想されることから、各地域づくり協議会の希望を聞き、配備できるよう併せて要望します。

３．子育て・教育環境の充実について　R08-010-007　こども課　子育て応援係

国は「こども家庭庁」を創設し、従来の各省縦割りの壁を打破した全く新しい「こどもまんなか」政策を推進されています。元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育いずれの過程においても、充実した子育て環境が求められます。安心して出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。このことから、新たな発想と抜本的な子育て施策改革など、次年度にむけた南砺市らしい斬新で積極的な取り組みが図られることを要望します。

（１）子育てしやすい職場環境の充実　　R08-010-008　こども課　保育園係

南砺市では、就労状況や家庭の事情に関わらず利用可能な「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」の実施に向けて準備を進められています。南砺市は、子育てしたいと思ってもらえる市であるとアピールすべきです。子育て施策に先行投資して出来る事を全てやる覚悟が求められていると考えます。そのことを強く要望します。

（２）持続可能な保育園のあり方について　R08-010-009　こども課　保育園係

南砺市は学校のあり方について、議論され一定の方向性が示されその方向で動き始めました。しかしながら少子化問題を直撃しているのは保

育園です。そのあり方についての議論も必要だと考えます。誰もが安心して子どもを生み育てる為には、保育園機能の存続は不可欠です。従来の保育士配属基準では、山間地等の小規模保育園の維持が困難な状況になると懸念されます。全市的な今後の保育園のあり方について、議論・検討する場などの設置を強く要望します。

（３）小中学校の統廃合をめぐる議論のあり方について　R08-010-010　教育総務課　総務係

小中学校の再編・統合をめぐっては、福光及び城端の各地域で統合検討委員会が設置され、福光地域では、令和１０年を目途に小中学校を各１校とする方向性が示されています。一方で保護者や地域住民からは、地域の枠を越えた小中学校の統合を視野に入れた、市全体での学校のあり方検討をのぞむ声も聞かれるようになってきています。

人口減少の進行が著しく進み、市全体の出生数が年間で約１６０人程度となっている現状や、１０年・２０年先の児童数の推移なども踏まえた、中長期的かつ広い視野での市としての方針を明確に示してください。その上で、市全体で学校のあり方を検討される場を、できるだけ早い段階で設けられることを求めます。

（４）令和１０年４月の福光地域小中学校統合に係る件について
R08-010-011　教育総務課　総務係

小中学校が各１校となり、小矢部川を越えての通学路が新たにでき、福光大橋、新福光大橋、福吉橋を通る児童生徒が出てきます。これらの橋の手すりの高さは現在 90cm となっているので安全確保のため手すりの高さを上げてください。

現在あるスクールバスをやりくりしても、校区が広くなるため、一部の児童は家を出る時刻が早くなったり、バスに乗っている時間が長くなったりして児童や家族の負担が大きくなるので、スクールバスの台数を増やすとともに、確実な運転手人材の確保を求めます。

校区が広くなるため、児童館の利用者数も多くなります。過日、福光児童館「キッズランド」へ行く児童が交通事故に遭ったこともあり、現在のキッズランドへの道筋は危険なので、福光中学校の跡地利用の一つとして、児童館としての機能を検討してください。

新たな通学路となる国道 304 号線荒木・溝口農機角の交差点に、信号機を設置してください。

（５）山村留学事業の継続支援について　R08-010-012　教育総務課　学務係

山村留学事業については、令和３年度から実施され地域に元気を与えています。人口減と少子化により地域生まれの子供達が減少している中で、地域

の祭りや芸能の継承に山村留学の子供やその経験者が、獅子舞存続に大きな役割を担っています。山村留学の募集をしていますが後継者確保は、地域に生まれ育った子供だけでは追い付かないのが現状です。宮崎県の中山間地域で銀鏡神楽がある西都市銀鏡の小中一貫校の銀上学園では現在１６名の児童生徒がいるが、うち１３名が山村留学の子供達であります。また長野県阿南町の新野小学校も入学者が激減し、地域挙げて山村留学の募集を行っています。

利賀も含め他県からの山村留学経験者の姿は、Ｉターン、Ｕターン促進だけではなく、これからの地域社会の在り方そのものにとって需要なことです。

これからも利賀地域挙げて山村留学の募集や受入れ家庭の確保等に、積極的に取組む考えであり、市当局としてもできる限り山村留学が継続できるよう、最大限の支援をお願いします。

４．安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、生活基盤となる道路網の整備が重要となってきます。

また、近年の異常気象による豪雨等の対策として、洪水調整機能を有するダムやため池の補強整備、流下能力を高めるための河川の浚渫、雑木・雑草の除去や改良が必要となっています。

このことから、下記の項目について積極的な対応を図られることを要望します。

（１）河川の維持管理　R08-010-013　建設維持課　公園・河川係

近年、今までに経験したことがないような集中豪雨によって、大規模な土砂災害が発生する事例が多く見受けられることから、河川の維持管理の徹底について、県等関係機関に働きかけることを要望します。

また、市の管理する準用河川における災害防止対策についても強化されるよう要望します。

（２）利賀ダムの整備　R08-010-014　建設維持課　公園・河川係

調査開始から３７年、ようやく利賀ダムの本体工事に着手されました。ダムの完工とそれに伴う国道４７１号利賀バイパスの整備について一日も早く完成するよう関係機関に働きかけることを要望します。

さらに、住民が安心して生活できる環境作りに努めていただくことも切に願っております。これらの要望は我々地域住民の日常生活と安全確保、さらなる地域発展のための重要な要素となります。

（３）東海北陸自動車道の４車線化及びスマートインター周辺整備

R08-010-015
都市整備課　道路街路係

東海北陸自動車の付加車線整備促進及びトンネルを含めた、完全４車線化の整備について継続して関係機関に要請することを要望します。また、城端スマートＩＣへのアクセス道路ならびに周辺環境の整備に取り組むことを強く要望します。

（４）金沢福光連絡道路の事業化

R08-010-016　都市整備課　道路街路係

南砺市と金沢市では、平成１０年に「金沢福光連絡道路整備促進期成同盟会」が設立され、毎年、金沢福光連絡道路の事業化に向けた要望活動が行われていますが、これと大きく関連する金沢湯涌福光線に関しては、未だに整備計画が全く明らかにされていません。自然災害大国である日本において主要幹線道路の代替確保は重要なテーマであり、安全安心な国民生活はもとより、城端スマートインターチェンジを活用した広域交流の促進、プレイアースパーク構想を含めた交流人口の増大を図るためにも、早期に調査着手するよう県等関係機関に働きかけることを要望します。

（５）　八乙女連絡道整備計画の事業化

R08-010-017 都市整備課　道路街路係

現在、利賀ダム建設に合わせ国道４７１号利賀バイパスの整備が進められていますが、国道１５６号に接続しても大雨の際は雨量規制により通行止になることが多く、これまでも度々孤立集落が発生しています。

近年の豪雨における大規模土砂崩れ等による孤立集落解消や広域観光の推進のため、バイパスの終点から井波地域を通る国道４７１号につなぐ八乙女トンネルを含めた八乙女連絡道整備計画の推進に向けて令和６年６月「八乙女連絡道整備計画推進協議会」が設立され、令和７年７月に総会が開催されました。当協議会には、南砺市地域づくり協議会連合会理事も構成員として参画しています。

ついては、八乙女連絡道整備計画が早期に事業化されるよう国、県等関係機関に働きかけることを要望します。

（６）市道・林道の適正な管理

R08-010-018
建設維持課　公園・河川係

- 人口減少や空き家の増加・高齢化により、冬期間における生活道路の確保が困難となってきています。新たに消雪装置の設置を要望している地区についてはその実現に向けて努めることを要望します。

R08-010-019
建設維持課　道路維持係

- 地域の建設業は、冬期道路除雪や災害時の対応等、地域の安全・安心を支える重要な役割を果たしていますが、年間の仕事量の減少によりオペレーター不足が深刻となっています。このことに鑑み、待機費用

の見直しなど除雪作業環境の改善を図り、引き続き除雪体制の支援を行うことを要望します。

➢ 国の施策として、高齢者の事故防止のための機能を備えたサポカー（安全運転サポート車）の普及を進めていますが、市道の歩道整備やその機能が発揮されるために必要となる市道のセンターラインの補修を含む整備をお願いします。また、外側線・ガードレール・安全標識・デリネーターポール・街路樹・植樹帯・水路転落防止柵等の破損状況を把握するとともに計画的な維持管理に努めることを要望します。

R08-010-020
建設維持課　道路維持係

➢ 主要な市道・林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木や支障木（いわゆるよりかかり木）が多くあり、事故の発生を防止するためにも、パトロールの徹底とともに事前除去を実施することを要望します。

R08-010-021
建設維持課　道路維持係

（７）鳥獣被害対策の推進

➢ イノシシ、クマ、ニホンザル、シカ、カラス、サギなどの野生動物が年々頻繁に出没し、農作物への被害や人的危害を与えるなど、鳥獣被害が里山に慢性的に増加し、住民の安全な生活が脅かされています。このことから捕獲隊員の新規担い手育成、組織の持続・活動に対する市独自の助成、耐雪型の侵入防止柵設置への助成等の予算枠を増やすとともに、近隣地域と横連携を図るなど、全域的な取り組みとし有害鳥獣被害の総合的な対策を図ることを要望します。特に電気柵は１０日に一度点検のため巡回しなければならないなど負担が大きく、高齢化の対応としても将来的には耐雪型の鋼製恒久柵の設置が望まれます。その実現により春の設置・降雪前の撤去、除草等の作業軽減が飛躍的に軽減されるよう要望します。

R08-010-022
森林・農地整備課 林政係

R08-010-023
農政課　農産振興係

➢ 豚コレラについては、その対策に万全を期すことを要望します。

➢ 猟友会会員の老齢化と新規の担い手不足が深刻化しています。市や県の新規免許取得者への補助金制度はありますが、少額で実態とはかけ離れていますし、取得時のみならず毎年の必要経費もかかります。それらの現実に即した手厚い支援がないと被害対策の根幹を維持できない深刻な事態になりかねません。早急に抜本的な見直し・充実を図るよう強く要望します。

R08-010-024
森林・農地整備課 林政係

➢ 有害獣出没に係る注意喚起は、地域住民のみならず市内を訪れている観光客に対しても必要であることから、迅速かつ的確に伝わる注意情報の発信を要望します。

R08-010-025
森林・農地整備課 林政係

（８）農業用水路の安全対策　R08-010-026 森林・農地整備課　農林整備係

用水路への転落事故が多発していることから、県では「富山県農業用水

路安全対策ガイドライン」を策定し、また、国では新たな補助制度を充実させています。市は用水管理者である土地改良区等と連携し、農業用水路への転落事故防止に向けた意識啓発や必要な事故防止対策を推進することを要望します。

５．地域活性化の支援策について

南砺市では少子高齢化や人口減少が進んでおり、それに起因して地域の活力の低下に繋がっています。このような現状の中、各地域の課題解決に取り組むことが益々求められています。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られることを要望します

（１） ＪＲ城端線の利用促進対策について

従来ローカル線の維持存続などすべてＪＲ任せだった国の方針が、大きく転換され国・県・市町村・ＪＲが連携し存続させることになりました。それにより城端線・氷見線の存続、利便性向上の方針が決定しました。以下それに伴う具体的な利用促進・利便性の向上について要望します。

R08-010-027
未来創造課 交通政策係
- 駅舎の空調設備改善。また福野駅に東口改札口の新設による福野高校への利便性向上を要望します。

R08-010-028
未来創造課 交通政策係
- マイカー通勤者の鉄路利用促進のため各駅の駐車場の整備、いわゆるパークアンドライドの推進です。無人駅などにも小さな駐車場と駐輪場の整備も併せて要望します。

R08-010-029
未来創造課 交通政策係
- 新車両の導入やパターンダイヤ化による増便が計画されますが、少ない車両でも混雑緩和のための新車両や降雪期に強い車両を要望します。

R08-010-030
未来創造課 交通政策係
- タクトダイヤの導入を要望します。高岡駅に城端線・氷見線・あいの風鉄道が集結します。可能な限り待ち合わせ時間を短縮して接続する、ダイヤ編成にする事で利便性が飛躍的に向上する事が期待されます。

（２） 公共交通の確保及び交通体系の見直し

R08-010-031
未来創造課 交通政策係
今回の県と関係４市の方針では、「幹」としての鉄路である城端線・氷見線の徹底した利便性を確立すること。「枝」として各市は市営バスや民間運行バスなどの路線を見直し、それぞれの地域から駅への路線を集中させ、高校生の通学時間帯の運行など、鉄道ダイヤと連結したダイヤ編成とし、また、各駅を拠点とした市民病院や中央病院などへの移動が容易となるバス路線新設を推進するなど、現行のなんバスの全面的な見直しを実施すること。「葉」として各地域の家からバス停・主要な駅・交流センター・スーパーま

でなど、高齢者や高校生など交通弱者の足の確保が必要なこれらの区間への対応については、各地域づくり協議会が運行するデマンド型交通システムを確保することなどが重要だと位置付けされました。

人口の多い大都市部と違い、散居村と言う独特な居住環境である南砺市は、公共交通とは何かの理解も乏しく、長年マイカーに過度に依存してきた経緯があります。ある意味８０歳を超えてもマイカーを普通に運転し続ける現状は、住民の意識改革から始めないと変わらないとも言えます。そのためにはマイカーに頼らなくても暮らし続けられると感じる、抜本的で分かり易い公共交通体系を構築し、市民に詳しく説明し続ける必要があります。「枝」「葉」の確立に向けて抜本的交通政策の見直し・確立を強く要望します。

（３）空き家の有効活用と危険空き家除却への支援　R08-010-032 都市整備課 住宅政策係

「南砺市空き家等対策計画」に基づき、現状　把握を行い、地域における空き家の利活用の促進や、空き家等地域対策推進員を中心とした相談体制の充実等を図り、空き家を未然に防ぐ地域づくりに取り組むことを要望します。また、管理不全空き家や老朽危険空き家について、撤去や敷地に生息する有害鳥獣の駆除を強く要望します。

（４）小規模多機能自治の推進への支援　R08-010-033 市民協働課 地域協働係

小規模多機能自治は今年で８年目を迎え、各地域づくり協議会では地域課題解決に向けた様々な活動への取り組みを進めています。小規模多機能自治に相応しい「地縁団体」などへの法人格創設に向けて、国・県などの関係機関に働きかけることを要望します。

（５）施設再編計画について　R08-010-034 行革推進室 行革推進係

施設再編計画の地域要望を考慮した運用について

令和７年度末の施設再編計画では、地域の要望を無視した一方的な実施は地域活性化の障壁となると考えます。防災上の避難所の譲渡や取り壊し、地域の若者の就業場所の減少といった問題に対し、地域の具体的な事情を踏まえた判断が必要と思います。公共施設面積の半分への減少といった極端な計画は、無理強いになり消滅都市化に繋がる可能性があります。計画の見直し及び柔軟な対応を求めます。

６．その他

➢　市道の補修は、順次補修を行ってもらっているところですが、ここ数年の積雪や日照による劣化により、舗装道路が全体的に割れや破壊が進み、まるで石畳のような状態となり安全すら確保できない状態の

R08-010-035
建設維持課 道路維持係

道路も目立つようになっております。 穴をふさぐ対応では、一時的な問題の解消にはなるかもしれませんが、本質的な道路の老朽化問題が解消されず、また同様の問題が再発するのは時間の問題と考えております。 したがって、生活道路を含む市道の全面的な補修を強く要望いたします。

R08-010-036
生涯学習・文化振興課
文化財係

➢ 縄ヶ池は自然豊かな景勝地であり、日々多くの観光客や登山者が訪れるこの場所について、至急の改善を要望いたします。現在、木道の経年劣化による損傷が激しく、木道のぐらつきによる負傷事故の危険性が高まっております。これは、地域の人々だけでなく、外から訪れる観光客に対する安全を脅かす重大な問題と認識しております。縄ヶ池の木道の補修整備について早期の点検修繕を強く要望いたします。

R08-010-037
未来創造課
まちづくり推進係

➢ 旧富山紡績跡地エリアの開発について、令和６年１２月の住民説明会後１年以上も福野まちづくり検討委員会が開催されず、ようやく令和８年３月に第７回の委員会を行い協議しましたが、単なる意見交換だけに終わりました。そして、令和８年７月２８日に「福野地域住民主体のまちづくり事業について」として話し合いをしましたが、参加者は過半数に満たない会議であり、内容も不確かなものばかりでした。今後どのような方向性をもって開発を考えるのかをより具体的に話し合える環境を早急に整えていただくことを強く要望します。

R08-010-038
森林・農地整備課
林政係

➢ 地域内に多発する熊出没に対する住民の安全確保対策を希望します。

R08-010-039
総務課
防災危機管理係

➢ 防災行政無線が聞き取れるか調査とスピーカー等の増設

山見町並町内をはじめ、防災行政無線が聞き取れないという地区や町内がいくつかあります。防災行政無線は防災、応急救助、災害復旧、行政事務に関して重要な役割を担っています。聞き取りにくい地区や町内がないか南砺市全域の調査をしていただき、スピーカーの設置場所を増やす等の対応を要望します。

R08-010-040
建設維持課
公園・河川係

➢ 市道高宮～川上中（井口）線の消雪装置の設置

当該市道は、近年通行車両が増加しており、救急車両が通行する経路としても重要な役割を担っていることから、地域住民の安全安心を確保するとともに、冬期間における交通の円滑化を図るため、融雪装置の設置を要望します。

R08-010-041
建設維持課　道路維持係

➢　市道高宮３・５・７・８号線、小林吉江野線農村下水道の舗装、本復旧工事

該当市道は、下水道工事後の仮舗装面の凹凸が多く、水たまりやひび割れ、クラックが生じており、状況が日々悪化しているため、舗装の本復旧を要望します。

R08-010-042
建設維持課　道路維持係

➢　県道 20 号（砺波福光）線からの融雪水、雨水流入防止

該当県道（南遊部交差点）と小矢部川方向への市道に勾配による高低差があり、雨水や融雪水が個人宅へ流入し生活に支障をきたすため、グレーチング付きの側溝を設置するなど、排水の改善を要望します。

R08-010-043
都市整備課　道路街路係

➢　福光駅前からの遊部地区へのアクセス向上の道路改修要望

角田交差点は、遊部地区から福光駅前方面、駅から遊部地区方面へ入るのも不便なため、交差点の信号等の変更または、ロータリー方式への変更などを検討願います。

R08-010-044
建設維持課
公園・河川係

➢　小矢部川堤防（遊部地区・遊部大橋～遊泉橋間）の桜の木の防除

千本桜プロジェクトで新たに植栽された遊部大橋から遊泉橋間の防除についても従来の千本桜と同様に、市で防除を実施されるよう要望します。